

青森で生きる未来人財育成事業 ボランティアチーム養成講座【第3回】

令和6年6月30日(土)14:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者23名

1 内容

【テーマ】「子育て支援ボランティア～今こそ、高校生の力が必要な時～」

【講師】 family café あづま～る 代表 ふじばやし しゅう 藤林 秀 氏

【経歴】

平成30年より、五所川原市において月1回活動している子育てサロン family café あづま～るの代表を務めている。

これまで、認可保育園や児童デイサービス事業所にて勤務し、平成30年からは、特定非営利活動法人ほほえみの会就労継続支援B型事業所プラスにて勤務しながら、NPO法人ファザーリングジャパン東北青森支部の副代表や、五所川原市ボランティア連絡協議会の理事等を務めている。



【講義要旨】

- 「子ども・子育て支援」とは、全ての子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、国若しくは地方公共団体又は地域における子育ての支援を行う者が実施する子ども及び子どもの保護者に対する支援と定義されている。
- ボランティアを続けるためには、①複数のボランティア先から選んだか、②説明や振り返りが丁寧か、③自分にとって、居心地が良いか、④自分の中で満足感・達成感があったかどうかについて考えることが大切である。
- 子育てサロンへの参加により、保護者にとっては、孤独の解消や育児不安の減少、繋がりや醸成等につながり、高校生にとっては、仲間とのポジティブな関わり合いをとおして高い満足感を得ることができ、日常生活や学校生活にも活力的に取り組むことができるようになる等の効果が期待できる。

2 受講者の感想

- ・子育ては地域単位での包括的支援が大切で、その中のひとつとして高校生の協力が必須であることを学んだ。
- ・ボランティア活動は継続していくことが大切だと知り、継続することで自分の気持ちが安定することに加え、大学生や大人になっても目標を明確にもつことができるという考え方に共感した。
- ・青森県で、いろいろな子育てに関するイベントが行われていることを知り、私もボランティアスタッフの一員として関わってみたいという気持ちが一層高まった。
- ・高校生も、子育てボランティアで力になれることを知り、嬉しかった。高校生の立場で子どもと接するのは今の自分たちにしかできないことで、体験したいと思った。子どもや親など、利用する人たちのためになることと同時に、自分自身の成長のためにも、子育て支援ボランティアに参加してみたいと思った。